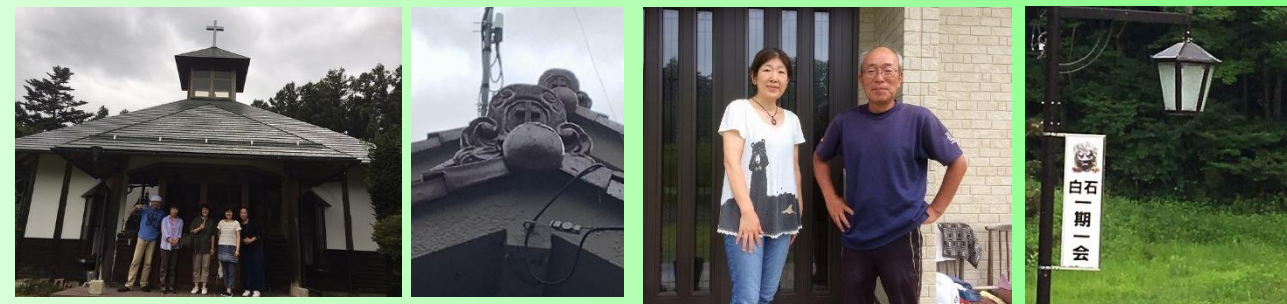




24日10時からの五社の社での音楽療法は、若宮前の仮設の方々に来ていただきました。南一丁目の方々も顔を見せてくださっています。今回は新しく川内村にある障がい者通所施設 NPO JIN サロン「どじょう」(2013年6月開設)の皆さんが参加されました。支援員の大内さんはクリスチャンの方でした。藤木先生ご夫妻の音楽療法はカエルのしんぺい君の挨拶と共に始まり、いつものように体を動かし歌を歌いながら進みます。自然と笑みがこぼれるのは信頼関係ができていからなのか、それともどんな時でも藤木先生が面白いからなのか・・・?!音楽療法が終わってからはお茶の時間となり仮設の方々、「どじょう」の方々がテーブルを分けての歓談となりました。支援員の大内さんは、いつもの閉鎖された場所ではなくこのように外に出ていかれることはとてもありがたいと言っておられました。仮設のテーブルではワイワイがやがやと話が盛り上がり、翌日も川内いるのなら「うちに来な」と言ってくれる方もいました。写真左一番下は左からサロン「どじょう」大内支援員、岡庭さん、NPO コースター理事坂上さん。坂上さんは富岡出身で現在郡山市にて働いておられ、ふれあいの働きを見学されました。様々な出会いがありました。



24日夜は須賀川シオンキャンプ場に宿泊しました。屋根瓦にも十字架があります。25日朝、丘の上チャペルの白石姉のご自宅へ向かいました。一緒に川内村へ行くためです。ご主人はこの土地の方です。引退されて故郷に帰られ素晴らしい景色の見える場所にご夫妻で住んでおられます。写真右の門柱は「一期一会」と書かれています。ご主人との楽しい語らいの後、私たちは川内村へと出発しました。白石姉は川内村の働きにいつも同行して下さいます。教会には白石姉の世代の方はいません。しかし私たちと白石姉は同世代なので車中は大いに盛り上がりました。(会話はご想像にお任せします。)

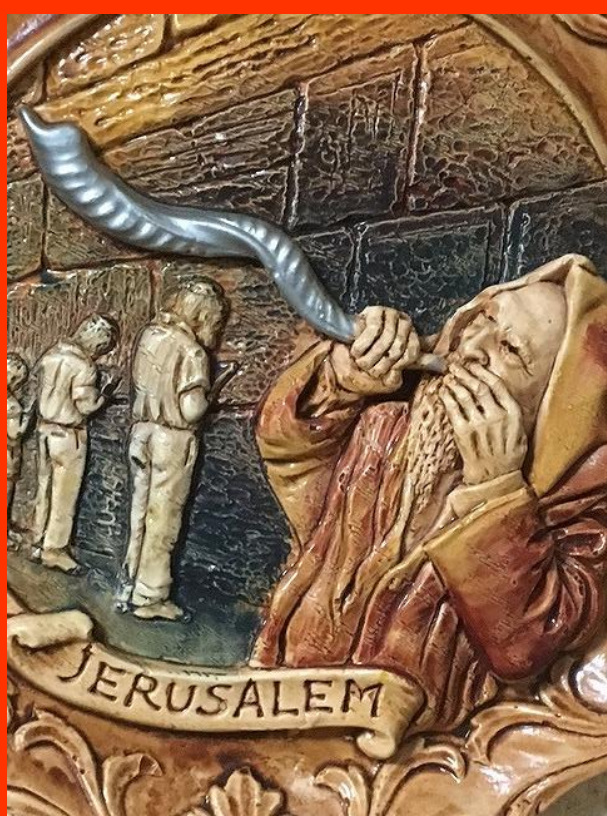


次回は→の会議室を使う予定です。教育委員会の方はとても親切に対応して下さいました。

川内村のコミュニティセンターへ向かいました。管轄は教育委員会です。五社の社では体をあまり動かさないのもう少し広い場所をと思っていましたが、志田さんのアドバイスもありコミセンに行くのと度よい場所があり申し込みました。中規模大規模とできる場所があり将来の展開が楽しみです。

24日午後、丘の上チャペルでの西小野牧師との懇談会

川内村での働きは現地の西小野牧師の助けが必要です。お互いのことをよく理解する為に懇談会の時がもたれました。神様にとっても信頼し希望をもっている西小野牧師の姿勢に心打たれました。西小野牧師は2011年3月10日に神学校を卒業し翌日震災が起こりすぐに福島へ向かいました。クラッシュジャパン、いわきのグローバルミッションセンターへそして檜葉の仮設に3年いたそうです。そうして現在郡山聖書バプテスト教会 丘の上チャペルの牧師として牧会と宣教に携わっています。3年間仮設で多くの被災者の方とかわりを持っておられた西小野牧師の話は説得力があり、私たちもいろいろな角度から川内村の方々と接し向き合っていかなければならないと痛感した次第です。今後も西小野牧師のアドバイスと協力をいただきながら川内村での支援が進んでいきます。(写真左は丘の上チャペルにあった壁掛け)



25日の午後、五社の社で「うちに遊び来て」と誘ってくださったMさん宅を訪問すべく復興住宅を目指しました。しかし、どこの家かわかりません。皆で表札を探していると「あらー!!!!!!」と家の中から声が・・・!!「あがって、あがって!!」「お邪魔しまーす」と復興住宅の中へ初めて足を踏み入れました。部屋が2部屋とリビングがあり広々としています。とても綺麗な室内です。Mさんは現在一人で住んでいます。息子さんと娘さんは富岡に住んでいましたが避難、娘さんの家は未だ帰還困難区域で、家の周辺は草木が生い茂り見る影もない、テレビではこのようなことは放送されないとおられました。しかし家の中の様子や着物の状況などを写真に撮ると補償が出るので意を決して入っていったそうです。川内村では各家庭に無線があり、これを通して必要なことが流れてくるそうです。震災直後は無線機のコンセント抜いていたため消防団が来て「すぐに逃げてください」と言われ車中に数泊、その後近所の学校へ、そうしているうちに原発の爆発で退去となり村長が無線での「皆さん、お元気で、さようなら」という



言葉で騒然となったとか・・・「まるで夢のようだ」と言ったその言葉の中に、言葉にはとても表せない様々な多くの思いが込められていました。明るく、西小野牧師のことを「イケメン」と呼ぶ冗談が得意なMさんの真実な心は私達には決してわからないのかもしれませんが。仮設の方が私達を家に招き入れて下さった記念すべき日でした。皆様の3年を超えた祈り・ご支援心からありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。